

ボランティアセミナー

趣旨 青少年教育施設でのボランティア活動について目的や内容を理解するとともに、意欲を行動につなげる具体的な手立てを学び取ることで、ボランティア活動の実践力を身に付ける。

企画運営のポイント

1. オンラインでの実施とし、それぞれの学生が動画を見ながら課題に取り組んだ。
2. 動画は、できる限り当施設のことがわかるように作成した。
3. 学生が提出した課題をもとにオンライン上でグループワークを行った。

内容

- 5/8 (土)
①オンライン講義Ⅰ：ガイダンス、青少年教育について
5/9 (日)～5/21 (金)
②オンデマンドⅠ：ボランティア活動の意義（視聴後、課題提出）
講師 NPO 法人 ezorock 草野 竹史 氏
③オンデマンドⅡ：ボランティア活動の技術と安全管理（視聴後、課題提出）
講師 NPO 法人 どんころ野外学校 新野 和也 氏
④オンデマンドⅢ：青少年教育施設の現状と運営（視聴後、課題提出）
講師 国立日高青少年自然の家 次長 佐藤 英樹
- 5/22 (土)
⑤オンライン講義Ⅱ：ふりかえり、青少年教育施設におけるボランティア活動について

参加者の声

- ・ボランティアに活動したことはありませんでしたが、意義やより良いものにするための話し合いは初めてだったのでとても新鮮に感じました。
- ・普段かかわることができない人とかかわることができて、貴重な話を聴けたなと思いました。今ではオンラインが必須となってきていますが、オンラインでも十分に楽しくしっかりと学びました。もちろん実習のような体験活動にも参加してみたいですが、オンラインでもここまで楽しくしっかりと参加できるなら、オンラインでも十分学びました。
- ・ふりかえりで司会を務めることになったが、スムーズに進行できなかったなど反省の多い司会となりました。次の機会では、スムーズに楽しんでもらえるような進行をしていきたいです。今回は実りの多い時間を本当にありがとうございました。
- ・ボランティア活動について改めてふりかえるいい機会になりました。通信状況が悪く、苦戦しましたが、共有することで新たな発見ができました。皆が出したレポート（とてもよかった内容）がとても気になったので、そのような紹介もあつたらよかったなあと感じました。
- ・ボランティアとして集まらなくても活動しなくてもボランティアはできるが、集まることで得られることもあるということがよかった。
- ・自分がボランティアをやっていく中で意識していたことが出てきた点に関しては、自信につながった。知らなかった点に関しては新たな学びとして自分の知識になったためよかった。
- ・早く日高で活動してみたいです。
- ・ボランティアへの考えを文にすることで理解することができた。自分とは違う考えの人の話を聞いてとても勉強になった。意見を発表しやすい空気を作ってくれたため、自分の意見をしっかりと言うことができた。

【成果】

- ・Google Form を使用して日程調整を行うことで、短時間で効率的に集約することができた。
- ・グループに分けてふりかえりを行うことで、学生が他の人の話を聞いて学びになったという感想があった。

【課題】

- ・人数が多かったため、オンラインの人数確認に時間がかかった。グループに分かれたときに行ったり、チャット機能を使ったりなど短時間でやる方法を検討したい。
- ・ふりかえりの人数が多く、参加者同士が自発的に交流することが難しかった。1グループあたりの人数を少なくしていきたい。



**期日：令和3年5月8日（土）
～5月22日（土）**
対象：高校生、大学生、社会人など
**人数：高校生11名、大学生60名
社会人4名 計75名**